

# 令和元年度事業報告書

公益財団法人宮崎県産業振興機構

# 目 次

○ 公益財団法人宮崎県産業振興機構の概要	1
○ 評議員会・理事会の開催状況	2
○ 令和元年度事業の概況	3

# 1 公益財団法人宮崎県産業振興機構の概要

## (1) 目的

県内中小企業における、経営基盤強化、経営の革新、技術の高度化及び新事業の創出並びに関係組織・機関との連携の推進等に資する事業を行うことにより、本県産業の振興を図るとともに、活力ある地域社会の形成に寄与することを目的とする。

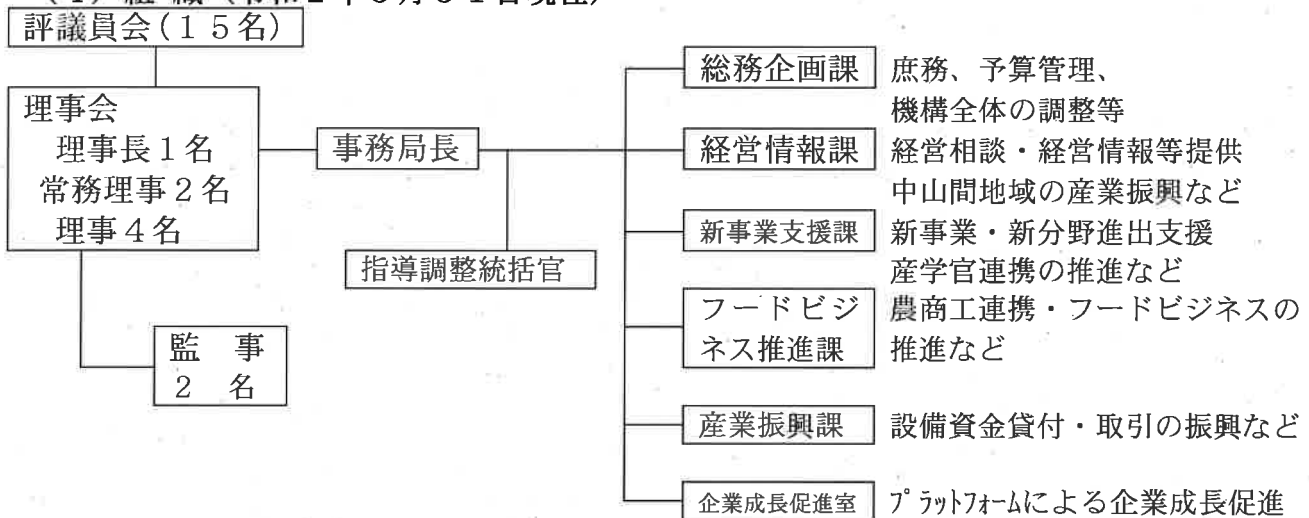
## (2) 事業

- ①経営課題等に対する相談、助言に関する事業
- ②新事業の創出、新分野への進出等に対する助成に関する事業
- ③経営基盤強化に資する取引振興、設備導入等に関する事業
- ④産業振興に資する情報の収集、分析及び提供に関する事業
- ⑤産業振興に資する人材の育成に関する事業
- ⑥産業振興の基盤づくりに資する人的、技術的ネットワークの強化及び高度化等に関する事業

## (3) 沿革

平12. 4	財団法人 宮崎県産業支援財団設立 (4月1日) (財) 宮崎県産業技術情報センター (昭54. 9 設立) と (財) 宮崎県中小企業振興公社 (昭43. 5 設立) を統合
25. 4	公益財団法人に移行、名称を公益財団法人宮崎県産業振興機構に変更

## (4) 組織 (令和2年3月31日現在)



常勤役員	3名
職員 (県派遣職員・プロパ-職員・企業派遣職員)	13名
雇用職員 (有期雇用職員・無期雇用職員)	27名
コーディネーター、アドバイザー等 (委嘱契約等)	52名
合計	95名

## (5) 所在地

- ① 宮崎市佐土原町東上那珂16500番地2 (宮崎県工業技術センター内)。
- ② なお、当機構が運営する「みやざきフードビジネス相談ステーション」は宮崎グリーンピア壱番館 (KITEN) 3階に、また企業成長促進室の職員が事務局員を務める「宮崎県企業成長促進プラットフォーム事務局」は同7階に設置。

## 2 評議員会・理事会の開催状況

### (1) 評議員会の開催状況

#### 第1回評議員会

日時：令和元年6月27日 書面審議

- 議事：(1) 評議員の選任について  
(2) 役員の選任について  
(3) 平成30年度事業報告について  
(4) 平成30年度収支決算について

#### 第2回評議員会

日時：令和2年3月31日 書面審議

- 議事：(1) 令和元年度事業計画及び収支予算の変更の専決について  
(2) 令和2年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて  
(3) 役員の選任について

### (2) 理事会の開催状況

#### 第1回理事会

日時：平成31年4月1日 書面審議

- 議事：(1) 代表理事の選定について

#### 第2回理事会

日時：令和元年6月11日

場所：K I T E N 8階コンベンションホール中会議室

- 議事：(1) 平成30年度事業報告について  
(2) 平成30年度収支決算について  
(3) 令和元年度第1回評議員会の開催について  
(4) 公益財団法人宮崎県産業振興機構 第5期中期運営計画の策定について

#### 第3回理事会

日時：令和元年6月27日 書面審議

- 議事：(1) 代表理事及び業務執行理事の選定について

#### 第4回理事会

日時：令和元年10月31日

場所：K I T E N 8階コンベンションホール中会議室

- 議事：(1) 令和元年度神半期における事業の進捗状況等について  
(2) 令和元年度事業計画及び収支予算の変更の専決について

#### 第5回理事会

日時：令和2年3月6日

場所：K I T E N 8階コンベンションホール大会議室1/3 (C)

- 議事：(1) 令和元年度事業計画及び収支予算の変更の専決について  
(2) 令和元年度下半期における業務執行状況等について  
(3) 令和2年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて  
(4) 令和元年度第2回評議員会の開催について

### 3 令和元年度事業の概況

#### 令和元年度事業実施の要旨及び方針

日本経済は、令和元年中は消費増税の影響はありながらも、個人消費が底堅く、企業の景況感も良好であったことから、雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかに回復していた。

しかし、令和2年に入り新型コロナウイルス感染症が国内外に広がりを見せ、収束時期が見通せないなか、イベントの中止や外出自粛等により、個人消費が停滞し、観光業、飲食業などサービス業を中心に、経済・雇用環境は厳しい状況となった。

本県においても、令和元年中は全国の状況を反映して、当初は弱含みながら堅調に推移していたが、令和2年に入り全国と同様に厳しい経済状況となった。

このような中、当機構では、令和元年6月に策定した第5期中期運営計画（令和元年度～令和4年度）の行動指針「一人ひとりが誠実に企業に寄り添い、チームによる支援で 全力サポートします」のもと、職員が一丸となって、企業に寄り添い、信頼されているパートナーとしての組織運営の実現に取り組んできた。

開設から6年目となった「よろず支援拠点」では、県内4か所のサテライトや県内の創業支援拠点等での出張相談、テレビ電話形式での相談の運用等を行い、相談者の利便性向上を図った。また、商工会や金融機関等の支援機関とは、中小企業・小規模事業者向けセミナー等の共同開催や支援機関職員への実務研修会の実施等により、支援体制の強化を図った。さらに、女性起業家に対しては、平成28年度に発足した宮崎よろず女子会で引き続きセミナーや会員同士の交流を促進するとともに、支援機関と共催で女性起業家ビジネスコンテストを開催するなど、サポートを強化した。

また、令和2年1月から、新型コロナウイルスに関する相談窓口を設置し、中小企業や小規模事業者の資金繰り等の相談に対応している。

一方、KITENビルに開設している「みやざきフードビジネス相談ステーション」においては、関係機関との連携を図りながら、毎月100件程度の相談対応を行い、平成25年11月開設以来の相談件数は延べ7,559件（令和2年3月末現在）となった。また、支援事例等を紹介した「みやざきフードビジネス相談ステーションNEWS」を年6回発行し、県内外に活動状況の情報を積極的に発信したほか、地域相談会の開催など、相談ステーションの活用の周知にも努めた。

また、同じくKITENビルに事務局を開設している、産学金労官の13機関で構成された「宮崎県企業成長促進プラットフォーム」では、県内経済をけん引する成長期待企業の発掘・育成等に努め、平成28年度から平成30年度の3年間で成長期待企業を20社認定し、地域中核的企業2社と合わせて、構成機関が連携して継続的・重点的な支援に取り組んだ。また、令和元年度には、市町村などの各地域経済をけん引することが期待される企業として未来成長企業を31社選定し、支援を行った。

以上、令和元年度においても「中小企業の新たな一步を応援！！—地域の魅力を創出—」という中期運営計画の基本理念を更に推し進めるため、トータルサポート（総合的で一貫した支援）を意識し、各種支援を効果的に実施するよう尽力した。

令和元年度事業計画に記載した6つの区分に基づく事業について、その概況は以下のとおりである。

# 令和元年度事業費総括

(単位：千円)

		決算額
(1)	<b>経営課題等に対する相談、助言に関する事業</b>	<b>93,265</b>
	① 総合相談窓口開設事業	8,136
	② 専門家派遣事業	255
	③ みやざき新ビジネス応援プラザ運営事業	2,809
	④ よろず支援拠点事業	82,065
(2)	<b>新事業の創出、新分野への進出等に対する助成に関する事業</b>	<b>142,309</b>
	① ものづくり産業新事業展開支援事業	3,542
	② みやざき農商工連携新商品開発・改良支援事業	2,881
	③ みやざき農商工連携応援ファンド活用推進事業	3,001
	④ 研究開発支援事業	16,300
	⑤ 実用化プロジェクト創出促進事業	1,738
	⑥ 環境イノベーション支援事業	20,109
	⑦ 中小企業特許出願等助成事業	2,297
	⑧ 戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）	92,441
(3)	<b>経営基盤強化に資する取引振興、設備導入等に関する事業</b>	<b>93,172</b>
	① 取引振興事業	14,657
	② みやざき小規模企業者等設備導入資金貸付事業	78,515
(4)	<b>産業振興に資する情報の収集、分析及び提供に関する事業</b>	<b>5,153</b>
	① 情報化支援活動事業	5,153
(5)	<b>産業振興に資する人材の育成に関する事業</b>	<b>7,870</b>
	① 人材育成事業	3,980
	② みやざき若手経営者養成塾	3,890
(6)	<b>産業振興の基盤づくりに資する人的、技術的ネットワークの強化及び高度化等に関する事業</b>	<b>156,829</b>
	① 中山間地域産業振興センター運営事業	7,926
	② 地域課題解決型起業支援事業	12,335
	③ 東九州メディカルバレー医工連携総合支援事業	4,763
	④ フードビジネス推進基盤強化事業	45,873
	⑤ トータルコーディネーター配置事業	5,506
	⑥ 食品表示法等アドバイザー派遣事業	5,592
	⑦ プラットフォームによる地域産業・企業成長促進事業	59,699
	⑧ 地域を支える未来企業育成事業	15,135
<b>計（1～6）</b>		<b>498,598</b>
7	<b>その他</b>	<b>254,362</b>
	その他事業活動支出	94,343
	財務活動支出	160,019
<b>合 計</b>		<b>752,960</b>

## (1) 経営課題等に対する相談、助言に関する事業

### ①総合相談窓口開設事業（事業費：8,136,284円 県）

中小企業者の経営、技術、ITなどのあらゆるニーズに対応するためのコーディネーターを配置し、相談助言活動等を行った。

コーディネーター	谷山 浩一郎	IT企業代表取締役
	片岡 博信	元旭化成工業(株)
	伊地知 澄相	元国土交通省職員、中小企業診断士
アドバイザー	高橋 忠彦	元旭化成工業(株)

#### (企業相談実績)

相談内容	相談件数	業種	相談件数
ものづくり	293件	製造業	212件
創業	22件	小売業・卸売業	97件
IT活用	10件	宿泊業・飲食業・サービス業	61件
経営革新	10件	建設業	33件
フードビジネス	6件	情報通信業	18件
地域資源活用	5件	農林漁業	12件
知的資産経営	4件	教育、学習支援業	8件
その他	148件	その他	57件
合計	498件	合計	498件

### ②専門家派遣事業（事業費：255,196円 県）

中小企業者が経営・技術などの課題に対応できるよう、各分野の専門家等を必要に応じアドバイザーとして企業へ派遣した。

派遣回数	派遣先業種等	(参考) 専門家登録者数
8回	製造業	79人

### ③みやざき新ビジネス応援プラザ運営事業（事業費：2,809,192円 県）

創業意欲があり優れた事業計画を持つ個人起業家やベンチャー企業を支援・育成するため、インキュベーションルームを低価格で提供するとともに、インキュベーション・マネジャー（IM）による経営に関する指導・助言を行い、一貫した創業支援を行った。

インキュベーションルーム入居者数(延べ)	6社
----------------------	----

### ④よろず支援拠点事業（事業費：82,064,845円 国）

中小企業や小規模事業者の起業・成長・安定の各段階のニーズに応じたきめ細やかな対応を図るため、中小企業診断士、弁護士、公認会計士、広告戦略やIT関連分野の専門家など、総勢15名のコーディネーターを配置し、多様な相談に対応した。

各地域の相談者の利便性向上を図るため、4か所（宮崎市中心部、都城市、延岡市、日南市）のサテライトに加え、県内の創業支援拠点等（都城市未来創造ステーション、えびの市起業支援センター）での出張相談や支援機関と連携したテレビ電話形式での相談の運用を行った。

また、女性企業家の学びとマッチングを目的とした宮崎よろず女子会を県内各地で定期的で開催し、女性企業家等への支援を強化した。（年間4回）

このほか、よろず支援拠点セミナーとして、商工会や金融機関等の支援機関職員への実務研修会を実施するとともに、キャッシュレス、事業承継など多様なテーマでセミナーや研修会を支援機関と共同開催するなど、支援体制の強化を図った。

新型コロナウイルス感染症対策については、1月30日に新型コロナウイルスに関する経営相談窓口を開設し、3月からは土日祝日も電話相談を受け付けるとともに、テレワーク等導入のための相談会を開催するなど、企業支援を実施したところである。

(コーディネーター 15名 ※令和2年3月末日)

チーフコーディネーター	長友 太(～5月末) 川野 圭介(7月～)	中小企業診断士 中小企業診断士
コーディネーター	馬場 拓	中小企業診断士
	倉吉 教文	元商工会議所専務
	黒田 泰裕	中小企業診断士
	島中 星輝	デザイン企業代表
	小川 大輔	WEBマーケター
	長友 悦子	元商工会議所経営指導員
	村上 秀幸	公認会計士、税理士
	長友 慶徳	弁護士、弁理士
	中村 諭	中小企業診断士
	柳本 明子	IT企業代表
	草野 喜代治	税理士
	坂本 敬子	税理士
	石川 ゆき	貿易コンサルタント
	飯干 良美(6月～)	社会保険労務士

(相談実績)

(業種別)

業種	実績数
サービス業	2,021件
小売業・卸売業	1,505件
宿泊業・飲食業	1,064件
製造業	672件
建設業	326件
農業・漁業・林業	293件
その他	646件
計	6,527件

[経営課題別：大分類]

課題	相談件数
売上拡大	4,644件
経営改善・事業再生	899件
創業	773件
事業承継	193件
廃業	9件
再チャレンジ	2件
その他	7件
合計	6,527件

[経営課題別：中分類]

課題	相談件数
広報戦略・広告デザイン	983件
販路提案	903件
経営知識	877件
事業計画策定	778件
施策活用	677件
資金繰り	465件
商品開発	327件
現場改善・生産性向上	278件
IT活用	264件
市場設定・市場調査	229件
雇用・労務	209件
事業連携	197件
法律・知的財産	120件
海外展開	56件
地域資源活用	49件
その他	115件
合計	6,527件



[支援機関等と連携して実施したセミナー・研修等]

○地域支援機関連携フォーラム

中小企業・小規模事業者、商工会議所・商工会等の経営指導員、金融機関等を対象に支援事例発表会を開催した。

開催日	会場	参加者数	成果等
令和元年 7月11日	ニューウェルシティ宮崎	159名	支援事例を通して、よろずコーディネーターの関わりや支援のポイントについての理解を深めた。

○連携勉強会

日本政策金融公庫職員を対象に、よろず支援拠点の支援事例の紹介と、ロールプレイングによる研修を行った。

開催日	会場	参加者数	成果等
令和元年11月19日	日本政策金融公庫宮崎支店	28名	よろず支援拠点の支援のポイントについて理解を深めるとともに、職員とコーディネーター間の交流が図られた。

○キャッシュレスセミナー

商工会議所や商工会との共催により、キャッシュレス決済の基本や導入のメリット・デメリット等についての講座を実施した。

開催日	連携先	参加者数	成果等
令和元年 6月26日	都農町商工会	15名	キャッシュレス決済の基本から具体的な導入・活用方法まで理解を深めることができた。
令和元年 9月13日	国富町商工会	17名	

○事業承継セミナー

宮崎県信用保証協会との共催により、事業承継を通して見えてくる経営課題全般に関わるセミナーを実施した。

開催日	連携先	参加者数	成果等
令和元年11月25日	宮崎県信用保証協会	50名	事業承継に関する税制改正の内容や今後の経営課題について事例等理解を深めた。

○その他

支援機関等からの要望に基づいて、創業、販売戦略等様々なテーマでセミナーを開催した。

## (2) 新事業の創出、新分野への進出等に対する助成に関する事業

### ①ものづくり産業新事業展開支援事業（事業費：3,542,288円 県）

県内に製造設備を有する中小企業者及び組合等が、優れた技術やアイデア等を活かして取り組む新製品等の開発や販路開拓を支援した。

ア ものづくり産業新製品開発支援事業

	事業者	事業計画名
1	(有)花菱精板工業	立ち上がり補助椅子の開発 (H29年度採択)
2	(株)ミック	アルミ鋳造法による風力発電用プロペラの開発 (H29年度採択)

3	エス・ピー・ジーテクノ(株)	小径SPGの大量生産技術の開発 (H30年度採択)
4	(株)宮防	除菌遮熱塗料の開発及び畜産用除菌剤噴霧システムの開発 (H30年度採択)
5	三和ニューテック(株)	介護支援装置”一時停止機能付マットセンサー”の開発 (H30年度採択)

#### イ ものづくり産業販路開拓支援事業

	事業者	事業計画名
1	AGRISTREAM KIMURA FARM(株)	「Gulfood2020(UAE・ドバイ)」出展事業 (R元年度採択)
2	(株)器	みやざき地頭鶏を活用した惣菜加工品の販路開拓事業 (R元年度採択)
3	(株)落合酒造場	アメリカ輸出販売拡大事業 (R元年度採択)
4	(株)興電舎	第6回鉄道技術展への出展 (R元年度採択)
5	(株)高千穂ムラたび	宮崎県産米ぬか・米粉を使用した新商品菓子の販路開拓事業 (R元年度採択)
6	道本食品(株)	タイ国際見本市出展によるアセアン市場開拓 (R元年度採択)
7	都城森林組合	スギコンテナ苗用培土販路開拓事業 (R元年度採択)
8	安井(株)	MEDICA2019 国際医療機器展への出展 (R元年度採択)
9	(株)そら彩	宮崎県産チーズを使用したチーズまんじゅうの販路開拓事業 (R元年度採択)

#### ②みやざき農商工連携新商品開発・改良支援事業(事業費:2,881,000円 県)

中小企業者又は農林漁業者による農商工連携をテーマにした、宮崎県産の素材に付加価値を付ける商品開発・商品改良の取組を支援した。

	事業者名	事業計画名
1	(有)協同ファーム	「屋台骨」との連携による、自社ブランド豚「まるみ豚を使用した餃子の開発」
2	(有)オカザキ食品	宮崎県産ブランド牛のローストビーフの開発と販売促進資料の作成
3	ケンコー食品工業(株)	砂糖を使わない「麴ジャム」の開発販売
4	虎彦(株)	高千穂町産大豆使用タンパク質強化どら焼き開発・販売事業
5	(株)みやざきサンミート季穰	ChaChatぐるめ(自社通販サイト)新商品開発事業
6	(株)ビーフ倉菌	倉菌牛生ハムの小型規格化、ブランドコンセプトの確立による新規販路獲得
7	(株)ウェルネス	さつまいもチーズ饅頭の開発

#### ③みやざき農商工連携応援ファンド活用推進事業(事業費:3,000,938円 県)

中小企業者と農林漁業者との連携による新商品開発等を支援するみやざき農商工連携応援ファンド事業は平成30年度で終了したが、10年間の事業期間の中で開発された新商品の更なる活用や新たな連携の推進を図るため、同ファンド活用の事業者等を対象にしたマッチング促進及び販路開拓等推進の取組を行った。

ア マッチング促進

「ひなたみやざきマッチング商談会・6次産業化促進交流会」

日 時	令和元年11月14日(木)
場 所	ニューウェルシティ宮崎(宮崎市)
参加人数	県内の農林水産物の一次生産者、食品加工業者：47事業者 県内外のバイヤー：70者、100名
内 容	宮崎県農業振公社と連携して6次産業化促進交流会と同時開催する形で、農商工連携を希望する農業者、6次産業化に取り組む農業者及び食品製造事業者が県内外のバイヤーと商談を行う「マッチング商談会」を実施した。

イ 販路開拓等推進

「EC(電子商取引)による販路開拓支援」

期 間	令和2年1月10日～令和2年3月24日
内 容	農商工連携・地域資源活用で開発された商品についてECでの販路開拓を個別に支援した。 ・支援対象事業者：当機構の助成金を活用して商品開発を行い、一定の販売実績がある事業者で、EC活用に意欲のある事業者を4者選定。 ・ECショッピングモール47CLUBへの出店及び自社ECサイトへの展開を支援。 ・面談により効果的・効率的なネットショップ運営をマンツーマンで指導。 ・メールマガジン・トップバナー・新聞関連紙面を利用したプロモーションを実践体験。

④産学官共同研究開発支援事業(事業費：16,300,082円 県)

宮崎県工業技術センター等の公設試験研究機関や大学等が所有する研究成果と、県内企業の事業化意欲とを効率的かつ効果的に結びつけた産学官連携の技術開発により、新産業の創出を図った。

	テ ィ マ	管理法人	共同研究者
1	フュージョン溶着製品接合面の非破壊検査可能性の調査 【F/S】H30年度採択	(株)清水製作所宮崎	都城工業高等専門学校
2	伝統的木桶仕込みの米酢醸造における事業可能性の調査 【F/S】H30年度採択	大山食品(株)	(大)宮崎大学
3	高級魚陸上養殖における溶存酸素管理のIoT化可能性の調査 【F/S】H30年度採択	(有)大田商店	宮崎県工業技術センター
4	粉末化技術の可能性調査 【F/S】H30年度採択	早川しょうゆみそ(株)	宮崎県食品開発センター
5	引き釣り用しゃくり機の事業化可能性調査 【F/S】R元年度採択	(株)キヨモトテックイチ	(大)宮崎大学
6	食べやすい食物繊維のヌードル「だいきんだーヌードル」開発の可能性調査 【F/S】R元年度採択	(株)West Woman's	南九州大学、晨星興産(株)
7	高齢者等に対する自動車運転評価システムを活用したサービスの提供に向けた研究開発 【R&D】H29年度採択	(株)オフアサポート	(大)宮崎大学
8	シラスを原料とするスパッタリングターゲットの製造技術および防曇アプリケーションの開発 【R&D】H29年度採択	高千穂シラス(株)	(株)高千穂(独)都城高専

9	オンライン診断を実現する太陽電池ストリング劣化診断装置の開発 【R&D】H30年度採択	(株)シーディエヌ	(大)宮崎大学 宮崎県工業技術センター
10	キャッシュレス化による観光産業に与える経済効果の検証事業 【ICT連携】H30年度採択	アイコムティ(株)	JTB(株)宮崎支店 (株)文宣ラボ
11	オンサイトで網羅的なウイルス検査を可能とするリアルタイムPCR検査(CHIM3-PCR)の開発 【R&D】R元年度採択	(株)システム技研	(大)鹿児島大学 (株)スティックスバイオテック
12	産婦人科用プラスチック陰鏡の開発 【R&D】R元年度採択	安井(株)	日本大学医学部

⑤実用化プロジェクト創出促進事業(事業費:1,737,496円 県)

公募型研究開発プロジェクトへの提案内容の企画・設計を行う専門家を配置することにより、優れた研究成果の事業化を支援した。

⑥環境イノベーション支援事業(事業費:20,108,658円 県)

i 産業廃棄物の排出抑制やリサイクルを促進するため、産学官が連携した共同研究グループや県内企業が行う環境リサイクル関連の新事業創出に対して支援を行った。

	テーマ	管理法人	共同研究者
1	冷間鍛造用加工油のクリーン化可能性調査 【F/S】H30年度採択	丸栄宮崎(株)	宮崎県工業技術センター
2	木材乾燥蒸気のスクラバー処理液に含まれる木材由来精油を用いた塗料の開発可能性調査 【F/S】H30年度採択	(株)三洋環境社プランナー	(株)大三商行サンテック事業部 宮崎県木材利用技術センター
3	廃棄プラスチックおよび廃棄木材等を利用した再生ボードの開発可能性調査 【F/S】R元年度採択	(株)都城北諸地区清掃公社	宮崎県木材利用技術センター 宮崎県工業技術センター
4	サメの未利用部位を活用した機能性水産加工品製品化可能性の基礎実験型調査 【基礎実験F/S】H30年度採択	宮崎県水産試験場	岸上蒲鉾(株)
5	木材乾燥機廃液の浄化技術開発のための基礎可能性試験 【基礎実験F/S】H30年度採択	(株)高嶺木材	(大)宮崎大学
6	貯蔵甘藷の腐敗廃棄削減のための貯蔵環境制御装置実用化に関する基礎実験型可能性調査 【基礎実験F/S】H30年度採択	ベジエイト(株)	宮崎県工業技術センター
7	多種類の不燃性産業廃棄物を活用した骨材開発可能性の基礎実験調査 【基礎実験F/S】R元年度採択	(株)塩川産業	(大)宮崎大学
8	クロム回収リサイクルによる廃棄物削減装置の実用化に向けた開発 【R&D】H29年度採択	吉玉精鍍(株)	福岡県工業技術センター
9	豚糞及びシイタケ廃菌床の利活用に関する技術開発 【R&D】H29年度採択	(株)マエノ	(大)宮崎大学 宮崎県工業技術センター

10	焼酎廃液微生物燃料電池の実用化に向けた開発 【R&D】R元年度採択	(株)イープラン	(大)宮崎大学
11	軟骨魚類の未利用部位を活用した加工食品とペットフードの商品化技術開発 【R&D】R元年度採択	(有)丸哲	岸上蒲鉾(株)、 宮崎県水産試験場、 (大)宮崎大学
12	木材乾燥機廃液浄化技術の実証研究 【R&D】R元年度採択	(株)高嶺木材	(大)宮崎大学

ii 環境リサイクル関連の研究開発テーマの掘り起こしを図るため、県内企業の潜在的開発ニーズや大学・公設試・企業の研究・技術シーズの調査等を行い、共同研究グループ形成等を目的としたマッチング会を開催した。

【研究開発等ニーズ調査】

- ・調査企業数：県内企業563社（回答数125社 回答率22.2%）
- ・成果：研究開発候補テーマ3件を掘り起こした。

【マッチングフォーラムの実施】

- ・廃棄物処理・リサイクルビジネスの課題解決に資するイノベーションに関するセミナー、公設試・大学の研究成果発表を実施し(参加者48名)、併せて企業(2社)と公設試等との個別面談会を行った。

⑦中小企業特許出願等支援事業（事業費：2,297,186円 機構、国）

ア 知的財産を活用した中小企業の振興を図るため、中小企業の特許出願、意匠出願に要する経費の助成を行った。

助成件数	助成金額
7件	918,000円

イ 中小企業等が外国での事業展開等に活用する産業財産権(特許、実用新案、意匠、商標、冒認対策の出願)に要する経費の助成を行った。

助成件数	助成金額
5件	1,327,000円

⑧戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）の事業管理機関業務

（機構事業費：92,441,018円 国）

中小企業が、研究機関等と連携して行う研究開発、試作品開発等を一貫して支援する国のサポイン事業に採択された次の県内3企業について、事業管理機関として製品化に向けての取組を支援した。

企業名	テーマ	共同研究機関	事業期間
(株)昭和	内視鏡外科医師の早期養成、及び手術時間短縮のため、眼電位・筋電位等の生体信号による空間画像処理技術を開発し、透過型ヘッドマウントディスプレイを用いたハンズフリーコミュニケーション支援システムの製品化	関西大学、京都大学、産業技術総合研究所、県工業技術センター、県機械技術センター	平成30年 9月25日～ 令和3年 3月31日
(株)教育情報サービス	途上国の子供たちが読み書き計算を学ぶための、AI技術と動画自動生成技術を有する基礎教育タブレット「Ta-BE（タビー）」の開発	(株)ビーアンドエム、宮崎大学	平成30年 9月25日～ 令和3年 3月31日
マイクロエース(株)	電解硫酸技術を活用した屋外で白化しにくいアルミ合金製品と表面処理装置の開発	千葉工業大学、産業技術総合研究所、県工業技術センター	令和元年 7月4日～ 令和4年 3月31日

### (3) 経営基盤強化に資する取引振興、設備導入等に関する事業

#### ①取引振興事業（事業費：14,656,890円 県）

下請取引等に関する企業情報、技術動向等を広く収集・提供し、中小企業の取引の促進と適正化を推進するとともに、受注基盤の強化を図り、中小企業の受注の確保と取引先の多角化を支援した。

（登録企業の状況）

区 分	令和元年度登録実績	累計登録企業数
発注企業	0 企業	267 企業
受注企業	3 企業	499 企業
計	3 企業	766 企業

（事業実績）

#### ア 受発注情報等収集提供事業

区 分	件 数	指導・相談 件数	区 分	件 数
取引あっせん・紹介件数	675 件	相 談 件 数	取引あっせん相談	66 件
成立件数	41 件		経営関係	0 件
不成立件数	290 件		苦情・紛争関係	53 件
折衝中	0 件		その他	0 件
			発注開拓企業件数	119 社

#### イ 商談会等開催事業

##### 商談会等開催

名称・開催日	会 場	参加企業数	成果等
ものづくり取引拡大商談会（大阪） 令和2年7月18日	ホテルグランヴィア大阪（大阪市）	発注企業 14社 受注企業 24社	成立件数 5件 " 金額 3,082,000円
ものづくり取引拡大商談会（宮崎） 令和元年11月7日～8日	MRTミック（宮崎市）	発注企業 26社 受注企業 50社	成立件数 5件 " 金額 8,760,000円
中小企業交流会 令和元年11月7日	MRTミック（宮崎市）	県内中小企業 29社	県内企業が発注企業と受注企業に分かれて面談と名刺交換を行った
訪問型商談会 令和元年12月5日	岡野バルブ製造(株)（福岡県北九州市）	県内中小企業 8社	県内中小企業が県外の発注企業を訪問して商談を展開した

#### ②みやざき小規模企業者等設備導入資金貸付事業（事業費：78,515,133円 県）

小規模企業者の経営基盤強化に必要な設備の導入の促進を行い、企業の経営基盤の強化を支援した。

貸付実績

業 種 別	令和元年度 資金貸付実績		(参考) 平成30年度 資金貸付実績
	件数	金額 (千円)	
農林水産業	2	10,300	1
鉱業	0	0	0
建設業	3	28,200	5
製造業	7	30,550	7
運輸業	0	0	0
卸売業	0	0	3
小売業	0	0	0
サービス業	1	2,500	1
その他	1	2,100	0
合 計	14	73,650	17

#### (4) 産業振興に資する情報の収集、分析及び提供に関する事業

##### ①情報化支援活動事業（事業費：5,153,078円 県、機構）

機構特選トピックスやイベントカレンダーなど活用頻度が高いコンテンツを安定的に運用しつつ、相談業務を伴う支援策や機構の重要施策は中小企業等がより見つけやすいようサイドメニューに配置するなど、より分かりやすい情報提供を行った。また、中小企業・ベンチャー支援策等のPRを行うためパンフレットの作成や、中小企業等に有益な支援策を提供するメールマガジンを発行した。

パンフレットの発行	発行部数 8,000部	
メールマガジンの配信	配信回数 31回	登録読者数 2,311者(R2.3.31)

#### (5) 産業振興に資する人材の育成に関する事業

##### ①人材育成事業（事業費：3,980,177円 機構 全国協会）

中小企業の経営力・技術力の向上や企業の将来的成長につながる経営者・技術者等の人材育成を図るため、研修等に要する経費を助成した。

##### ア 企業経営力アップ人材育成支援事業

中小企業の経営管理能力や技術力の向上を図るため、県内の中小企業の経営者や従業員が国内の公私機関で実施される専門的な研修に参加したり、講師を招聘して研修を開催する場合の経費の一部を助成した。

(助成実績)

研修等の内容	延べ企業数	延べ参加者数
経営管理関係	2件	4人
営業強化関係	3件	7人
技術力向上関係	11件	54人
リーダー育成関係	6件	20人
社内研修	3件	27人
合計	25件	112人

##### イ 未来成長企業経営力アップ人材育成支援事業

未来成長企業の経営管理能力や技術力の向上を図るため、未来成長企業の経営者や従業員が国内の公私機関で実施される専門的な研修に参加したり、講師を招聘して研修を開催する場合の経費の一部を助成した。

(助成実績)

研修等の内容	延べ企業数	延べ参加者数
経営管理関係	1件	1人
営業強化関係	0件	0人
技術力向上関係	2件	6人
リーダー育成関係	0件	0人
社内研修	1件	1人
合計	4件	8人

ウ 若手技術者等育成支援事業

県内中小企業の技術力や研究開発力の向上を図るため、若手技術者・研究者が取り組む「ものづくり基盤技術」を活用した技術開発に対して支援を行った。

	テーマ	企業名	備考
1	不織布へのめっき技術の高度化	吉玉精鍍（株）	若手1名（37歳）が不織布へのめっき技術開発に取り組んだ。
2	粉末化技術の高度化及び「雑穀みそ」製造技術の継承	早川しょうゆみそ（株）	若手2名（両者30歳）がしょうゆの粉末化技術の高度化及び雑穀みそ製造技術開発に取り組んだ。

②みやざき若手経営者養成塾（事業費：3,889,651円 県）

成長期待企業等県内中小企業の若手経営管理者を対象に、マネージャー等が身につけておくべき基礎知識を習得するとともに、コンサルタントの指導を得ながら、高い経営理念や事業戦略等について学び、事業計画の立案・発表をすることにより、経営知識やマネジメント能力の向上を図るため、連続講座を開催した。

開催日	会場	参加者数	内容
令和元年 8月27日(火)	市町村職員共済組合	38名	マネージャーの役割と心構え
令和元年 9月10日(火)	ひまわり荘(宮崎市)	34名	人と組織のマネジメント
令和元年 9月24日(火)		34名	業務のマネジメント
令和元年10月 8日(火)		31名	リスクのマネジメント
令和元年10月23日(水)	WASHハウス(株) 本店営業部ほか	18名	企業視察及び経営者講話
令和元年11月 5日(火)	ニューウエルシティ	20名	事業計画策定(講義)
令和元年11月19日(火)	宮崎(宮崎市)	19名	事業計画作成についての個別指導
令和元年12月 3日(火)		19名	事業計画発表

(6) 産業振興の基盤づくりに資する人的、技術的ネットワークの強化及び高度化等に関する事業

①中山間地域産業振興センター運営事業（事業費：7,926,370円 県）

中山間地域における事業者等からの相談に対応する「中山間地域産業振興コーディネーター」を配置し、地域資源等を生かした商品の開発や販路拡大の支援のほか、中山間地域の産業振興に資する「中山間セミナー」を実施した。

中山間セミナー開催

開催日	会場	参加者数	内容
令和元年10月11日(金)	@油津yotten (日南市)	20名	人口流出や疲弊した経済状況が続く地方で、地域に必要な人材を確保し、地域における人の働き方と暮らし方、そして地域で暮らす個人のキャリアを支援すること、それが価値のあることと捉える社会づくりを目指していくことが、社会形成に重要なファクターとなることを、インタビュー調査とアンケート調査から紐解き、地域に人材を呼び込みたい自治体や企業、地域には示唆のある提言を学んだ。
令和元年10月26日(土) ～27日(日)	五ヶ瀬町立旧 鞍岡中学校コ ミュニティホ ールほか (五ヶ瀬町)	115名	中山間地域にある資源を発見・活用し、観光や宿泊、新たな地域産品の開発等を通じた個性豊かな地域づくりに、行政、住民、教育機関等多様な主体が取り組む機会と



		して、フットパスや衣食、移住定住をテーマに事例発表、ワークショップを開催し、世代や地域を超えて地域づくりの状況について学んだ。
--	--	-----------------------------------------------------------------

②地域課題解決型起業支援事業（事業費：12,334,580円 県）

地域課題の解決に取り組む新たな起業者を対象に、起業支援金の交付及び事業の立ち上げ等に伴走支援を行った。

補助件数 6件 補助金額 8,643,000円

	商号	事業内容	開業届出日等
1	(株)シエナ・シノ	本県農産物、加工品のブランディング、輸出	R1.11.1
2	Café de arts rukkorā	古民家カフェ、民泊	R1.11.6
3	のさっと屋	雑穀加工品製造販売	R1.11.20
4	椎葉屋	地域産蕎麦などを原材料にした菓子等の製造販売	R1.12.5
5	SMALL HOTEL NPORT	体験観光型宿泊業	R2.2.3
6	ノーブル	地域食材を使用したパン製造販売	R2.2.4

③東九州メディカルバレー医工連携総合支援事業（事業費：4,763,000円 県）

東九州メディカルバレー構想を推進するため、「宮崎県医療機器産業研究会」(\*)の会員企業を対象に医療機器産業への参入を支援する「参入支援・開発支援コーディネーター」を設置し、情報提供や助言を行うとともに、会員企業相互や医療関係機関の橋渡し役として活動を行った。

また、医療機器等の販路開拓を支援する「販路開拓コーディネーター」や医療機器等の薬事戦略などについて助言指導を行う「薬事戦略アドバイザー」を設置して、首都圏の製販業者や病院、大学等を訪問し、会員企業の製品等とのマッチング、関係業界や医療現場のシーズ・ニーズの情報提供を行った。

※ 宮崎県医療機器産業研究会

・設立趣旨： 東九州メディカルバレー構想に基づき、医療機器産業の振興を図るため、本県内の産学官が連携し、企業の医療機器産業への新規参入、取引拡大を推進することを目的に設立

・設立： 平成23年10月19日

・会員数： 112企業・団体（企業：94社、支援機関：18団体）

④フードビジネス推進基盤強化事業（事業費：45,872,450円 県）

フードビジネスに関係する事業者等の様々な相談に対応するため、経営・財務、販売戦略、販路開拓、デザイン、海外展開等の専門家を配置した総合相談窓口「みやざきフードビジネス相談ステーション」を設置し、フード関連の関係機関とも連携を図りながら、相談者の課題解決に向けた助言や提案等の支援に取り組んだ。

ア 担当コーディネーター等（12名）

コーディネーター	高峰 由美	販売戦略、創業
	佐々木隆行	経営、6次産業化
	久積 正道	マーケティング
	生駒 祐一	IT、農業AI
サブコーディネーター	藤敷 志保	加工技術、レシピ
	森 祐一	商品設計、販路開拓
マーケティングアドバイザー	伊東 正寿	マーケティング、販路開拓

アドバイザー	吉松 孝一	海外展開
	金丸 友徳	味等料理評価
	川越 おもと	品質管理・衛生管理
	佐藤 大吾	機能性表示食品
	佐藤 智恵	カラーコーディネーター

#### イ 相談実績

相談区分	相談件数
新商品開発	348
6次産業化・農商工連携	23
創業	21
販路開拓	358
マーケティング	29
デザイン	49
表示	44
衛生管理	11
その他	302
計	1,185

#### ウ 相談対応以外の活動内容

- ・地域相談会の開催  
遠隔地に位置する事業者の利便性を図るため、地域別相談会を西臼杵地域、南那珂地域、西諸県地域の3か所において実施した。
- ・ホームページによる情報提供  
フードビジネスに関する企業等にステーションの活動を分かりやすく紹介するために、機構のホームページ内に「みやざきフードビジネス相談ステーション」のホームページを開設し、随時更新しながら情報提供を行った。
- ・連絡会議等の開催  
フードビジネス相談ステーションの相談案件等について、関係機関の情報共有及び事業の円滑な推進を図ることを目的に、月1回連絡会議を開催した。  
また、相談に適切に対応できるよう、よろず支援拠点及び農業振興公社と相互の業務内容についての情報共有会議を月1回開催した。
- ・ステーションニュースの発行  
フードビジネス相談ステーションのPRを積極的に図っていくため支援事例等を中心に年6回発行し、関係機関へ幅広く周知を図った。
- ・沖縄大交易会への出展支援  
海外展開を目指す県内事業者に対して、「沖縄大交易会2019」の出展ブースの確保及びマーケティングアドバイザー等による支援（海外企業との商談の留意点、成約に向けての事後の対応等）を行った。

#### ⑤ トータルコーディネーター配置事業（事業費：5,505,757円 県）

県が実施する衛生管理・品質管理向上研修事業を受講する企業に対して、伴走型のコーディネーターを配置し、HACCP対応をしていく上で必要である経営指導や商品の付加価値向上、生産工程の改善等を重点的に支援した。

- ・支援対象事業者：元年度衛生管理・品質管理向上研修受講事業者：10者  
過去に受講した事業者や今後の受講予定事業者：48者
- ・企業訪問回数：延べ89回
- ・商品の事前マッチングを活用した個別商談会の開催

第1回	期日：令和2年2月6日、7日 参加者：バイヤー（3社）、出展企業（22社） 商談：延べ45商談
第2回	期日：令和2年2月27日、28日 参加者：バイヤー（1社）、出展企業（16社） 商談：延べ16商談

⑥食品表示法等アドバイザー派遣事業（事業費：5,591,887円 県）

食品表示アドバイザーを配置し、卸売業者等の取引の基礎である食品表示の適正な作成に取り組む企業に対して、食品表示の作成及びスキルアップを支援した。

- ・食品表示アドバイザーによる表示作成支援件数：64件
- ・電話での一般的な相談対応件数：138件
- ・加工食品の新表示に関する研修会・個別相談会の開催

期 日	令和元年11月12日
会 場	宮崎県工業技術センター
参加者	第1部81名、第2部63名、個別相談11社

⑦プラットフォームによる地域産業・企業成長促進事業（事業費：59,699,493円 県）

産学金労官の13機関で構成される企業成長促進プラットフォームの事務局を運営し、これまでに認定した成長期待企業等22社を対象に、同プラットフォーム構成機関が連携した企業訪問等による指導・助言や企業の成長を促進する支援策等により、中核企業育成に向けた重点的な支援を行った。

ア 成長期待企業の認定

認定に向けた支援対象企業数 ※成長期待企業の候補企業として選定された企業数 <下記成長期待企業を含む>	67社
成長期待企業数<認定企業数>	20社

【成長期待企業一覧】

(五十音順)

	企業名	業種	所在市町村
1	(株)池上鉄工所	生産用機械器具製造業	延岡市
2	(株)井崎製作所	金属製品製造業	新富町
3	(株)一平ホールディングズ	飲食業/小売業	宮崎市
4	(株)オフアサポート	老人福祉・介護事業/学習支援事業	宮崎市
5	(株)くしまアオイファーム	農業	串間市
6	(株)コア・クリエイトシステム	情報サービス業	宮崎市
7	(株)サニー・シーリング	印刷・同関連業	都城市
8	(株)システム技研	生産用機械器具製造業	都城市
9	(株)修電舎	電気機械器具製造業	延岡市
10	(株)新海屋	食料品製造業	延岡市
11	(株)SHINGAKI	飲食料品卸売業	宮崎市
12	スパークジャパン(株)	情報サービス業	宮崎市
13	(株)高嶺木材	木材・木製品製造業	日南市
14	日本情報クリエイト(株)	情報サービス業	都城市
15	マイクロエース(株)	金属製品製造業	宮崎市

16	(株)宮防	建設業(防水工事等)	宮崎市
17	ヤマエ食品工業(株)	食料品製造業	都城市
18	大和フロンティア(株)	木材・木製品製造業	都城市
19	吉田産業(株)	木材・木製品製造業	日南市
20	(株)ワン・ステップ	物品賃貸業	宮崎市

※上記20社に加えて、「地域中核的企業」の認定を受けたミツワハガネ(株)及び宮崎ひでじビール(株)についても成長期待企業として支援を行った。

イ 企業訪問数

26社に対して延べ226回訪問

ウ 成長期待企業への外部専門家の派遣

	企業名	専門家分野	専門家
1	(株)シー・シーリング	人事評価制度	霧島人事総研 本嶋 有二郎
2	(株)シー・シーリング	販路拡大	山元経営診断事務所 山元 理
3	(株)SHINGAKI	原価管理制度	純経営コンサルオフィス 中村 純治
4	スパークジャパン(株)	原価管理制度	三浦会計事務所 三浦 洋司
5	日本情報クリエイト(株)	財務管理	鶴田悟士公認会計士税理士事務所 鶴田 悟士
6	ミツワハガネ(株)	人材育成・人事評価制度	(株)B-GROOW 空 直美
7	(株)ワン・ステップ	業務マネジメント	マツダ事務所 松田 正幸

エ 成長期待企業に対する経営診断の実施

	企業名	診断者
1	(株)SHINGAKI	一般社団法人宮崎県中小企業診断士協会

オ 企業成長ステージアップ支援事業補助金

	企業名	内容	補助額
1	(株)池上鉄工所	販路拡大	4,000千円
2	(株)一平ホールディングス	販路拡大	1,023千円
3	(株)オフアサポート	販路拡大	198千円

4	(株)システム技研	研究開発	497千円
5	(株)新海屋	販路拡大	3,733千円
6	スパークジャパン(株)	研究開発	1,967千円
7	ミツワハガネ(株)	販路拡大	732千円
8	(株)宮防	研究開発	766千円
9	ヤマエ食品工業(株)	販路拡大	383千円
10	犬和フロンティア(株)	販路拡大	4,596千円
11	(株)ワン・ステップ	販路拡大	2,000千円
		合計	19,895千円

カ 成長期待企業パワーアップ支援事業補助金（設備導入等に対する利子補給）

	企業名	内容	補助額
1	(株)井崎製作所	炭酸ガスレーザー加工機導入	150,642円
2	(株)くしまアオイファーム	サツマイモ集出荷場等整備	1,036,000円
3	(株)SHINGAKI	食肉加工設備導入	1,765,376円
4	(株)高嶺木材	大型製材工場新設（高原工場）	572,542円
5	宮崎ひでじビール(株)	工場整備	399,058円
6	(株)ワン・ステップ	遊具倉庫整備（浜松営業所）	269,281円
7		遊具倉庫整備（宮崎本社）	156,730円
8		遊具保管コンテナ等整備（宮崎本社）	95,867円
9		遊具保管倉庫整備（宮崎本社）	263,157円
		合計	4,708,653円

キ 工場管理者、管理者候補向けセミナー  
生産管理の基礎（於：県立図書館）

	開催日	参加者	内 容
1	令和元年11月12日(火)	18名	○品質管理の進め方 ○コストダウンと利益確保
2	令和元年11月13日(木)	18名	○リードタイム短縮の進め方 ゼミナール① ・自社の課題把握 ・改善策・改善計画
3	令和元年12月12日(木)	16名	ゼミナール② ・改善計画の振り返り、修正

		ゼミナール③ ・各自発表 ・全体講評
--	--	--------------------------

ク 成長期待企業を対象とした販路拡大相談会

日程	場所	参加企業	アドバイザー
令和2年3月4日(水) 令和2年3月5日(木)	KITENビル8階 小会議室2会場	9社	4名※

※A B I C (特定非営利活動法人国際社会貢献センター) から商社OBを招聘

⑧地域を支える未来企業育成事業(事業費:15,135,352円 県)

県内の中小企業等との取引や仕入などの県内経済の循環拡大、地域の雇用への貢献等により地域経済に寄与するなど、市町村などの各地域経済をけん引することが期待される企業を「未来成長企業」として選定し、担当コーディネーターがそれぞれ企業ごとの課題の整理、解決のための各種支援を行った。

ア 未来成長企業の選定

未来成長企業	31社
--------	-----

【未来成長企業一覧】

(五十音順)

企業名	所在地	企業名	所在地
1 (株)アシストユウ	宮崎市	17 (株)新原産業	三股町
2 (株)MFE HIMUKA	日向市	18 (株)花菱塗装技研工業	延岡市
3 (株)加藤えのき	宮崎市	19 原田建設(株)	宮崎市
4 (株)九建	宮崎市	20 (株)ひむか流通ネットワーク	宮崎市
5 (株)九州建設サポート	宮崎市	21 (株)日向屋	門川町
6 (株)教育情報サービス	宮崎市	22 福栄産業(株)	西都市
7 (株)栗山ノーサン	都城市	23 (株)フジキン	都城市
8 三和交通(株)	宮崎市	24 松山塗料商事(株)	延岡市
9 (株)塩川産業	宮崎市	25 (株)水永水産	門川町
10 (株)昭和	延岡市	26 (株)宮崎南印刷	宮崎市
11 (株)新緑園	新富町	27 (株)MUSASHI	宮崎市
12 (株)杉本商店	高千穂町	28 (株)モリタ	宮崎市
13 (株)SUNAO製薬	宮崎市	29 (株)山崎産業	延岡市
14 相馬工業(株)	宮崎市	30 (株)ヤマシタアグテム	三股町
15 (株)千穂の家	高千穂町	31 吉玉精鍍(株)	延岡市
16 (株)中園工業所	延岡市		

イ 企業訪問数

31社に対して延べ142回訪問